



川田喜久治展

2003. **3/29** [土] — **5/25** [日]

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 Fax: 03-3280-0033

劇場

Theatrum Mundi
KIKUJI KAWADA

世界

マレーネ・ディートリッヒ「聖なる世界 観—人—前」より 1966年 セラチンシルヴァープリント、セレン調色



Theatrum Mundi

劇場世界

川田喜久治展

23 11 26

二十世紀日本最後の金環蝕「ラスト・コスモロジー」より 1987年 セラチンシルヴァープリント

KIKUJI KAWADA

東京都写真美術館では、多彩な才能を繰り広げる写真家 川田喜久治による写真展を開催いたします。川田は1965年、その鋭い感性と意外性に満ちた意匠によって話題をさらった写真集『地図』で、写真界にセンセーショナルな記憶を残しました。写真家集団「VIVO」の創設メンバーとして活動し、以後、国内外における旺盛な取材活動の中から、日常性のなかに立ち現われる異質感を、諧謔性に満ちた視点によって映し出した「ロス・カプリチオス」や、バロック的の内面世界を描出し、写

真集には澁澤龍彦によるエッセイが寄せられた「聖なる世界」、世紀の転換期を真摯にみつめた「ラスト・コスモロジー」等を次々に発表していきました。

今回は、代表作から「カー・マニアック」「ユリイカ」といった近作や最新作を加え、作家の約半世紀に及ぶ写真活動の軌跡を展覧いたします。本展は、時代の諸相に常に

鋭敏に反応し続け、現在もまた制作の手綱を緩めることなく、鮮やかな切り口で新作を発表し続ける作家の深淵に触れる、絶好の機会となることでしょう。



幻の写真集『地図』

1965年に川田喜久治による初の写真集として出版された『地図』は、原爆投下の記憶を残す戦後史のドキュメンタリーをもとに制作されました。ほとんどの文字情報を廃し、観音開きを多用した異色のデザインでも注目を集め、日本写真史における写真集の金字塔としてゆるぎない存在感を保ち続けています。海外においても今日再評価の高まりがみられる本作は、現代社会への普遍的な問いかけとして鮮烈なメッセージを投げかけています。本展では写真集を解体してすべてのページを展示し、その全貌を浮かび上がらせます。

原爆ドームと太陽 爆心地「地図」より 1959-60年 セラチンシルヴァープリント



フリーウェイと天使「ユリイカ」より 1999年 インクジェットプリント

上ノゴジラ「ロス・カプリチオス」より 1972年 セラチンシルヴァープリント
下ノ赤い車「カー・マニアック」より 1997年 インクジェットプリント

- 主催……………東京都、東京都写真美術館、朝日新聞社
川田喜久治写真展実行委員会
- 協賛……………資生堂、富士写真フイルム、ニコン
ニコンカメラ販売、重森弘淹顕彰会
- 協力……………フォトギャラリー・インターナショナル
リプロ、日本油脂、油脂製品、サッポロビール

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>

- 会場……………東京都写真美術館 2階展示室
- 交通機関……………JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分
- 開館時間……………10:00～18:00 (木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前)
- 休館日……………毎週月曜日 (休館日が祝祭日の場合は翌日、4/28は開館)
- 観覧料……………一般 500(400)円、学生 400(320)円
中高生・65歳以上 250(200)円

※()内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下及び障害をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものを提示ください)

●関連ワークショップ●

川田喜久治氏を迎えてレクチャー・ワークショップを開催いたします。詳細はお問合わせください。
Aコース: 2003年5月3日(土)・4日(日)
Bコース: 2003年5月10日(土)・11日(日)

●フロアレクチャー●

担当学芸員による展示解説を行います。
4月11日・25日、5月9日・23日
各日金曜日午後2時より